

## 第4学年 音楽科学習指導案

東京都公立小学校

### 1 題材名 「さくらさくら」の音階で音楽をつくろう

### 2 題材のねらい

- (1) 「さくらさくら」の音階の音やその組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択して表現する技能を身に付ける。
- (2) 旋律や音階、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得る。
- (3) 「さくらさくら」の音階で旋律をつくる学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に音楽づくりの活動に取り組む。

### 3 題材について

#### (1) 児童の実態について

本学年は2年生から音楽専科が担当している。これまでに、2年生では「おまつりの音楽」をつくる活動や、「かぼちゃ」における、8拍のモチーフをつくって、つなげたり重ねたりして音楽をつくる活動、3年生では、三三七拍子のリズムをもとに、反復や変化を活用しながらまとまりのあるリズムをつくる活動などを経験してきた。また、4年生になって、4月には「歌のにじ」において、設定された音を選んで旋律をつくり歌唱教材と合わせて楽しむ活動に取り組み、5月には、五音音階（レミソラシ）を使って、木琴で旋律をつくり、つくった旋律を友達とつなげて表現するよさや面白さについて学習してきた。しかし、即興的に旋律をつくる学習について、理解が不十分なこともあり、もう少し取り組みたいと感じたところである。

そこで、本題材では、9月に器楽で学習した「さくらさくら」と関連付けて、その音階（ミファラシド）を使い、即興的に8拍の旋律をつくって、友達と旋律をつなげたりベースと重ねたりして音楽づくりと行うこととした。なお、児童が即興的に旋律をつくる活動を進んで行うことができるように、ミニキーボードに五音音階シート（都節音階）を付けて使用することとした。そして、今回の音楽づくりの学習で、「さくらさくら」の音階を使い、様々に音を組み合わせるなかで、即興的に旋律をつくるよさや面白さを感じ取りながら音楽づくりの発想を得て、今後のまとまりを意識した音楽づくりの学習につなげていけるようにしたい。

#### (2) 題材について

本題材は、「さくらさくら」の音階を使って、即興的に旋律をつくり表現する活動を通して、音楽づくりのよさや面白さを味わうことをねらいとしている。

ここでは、4月に歌唱、9月に器楽で学習した「さくらさくら」の音階の響きのよさや面白さに気付き、即興的に8拍の旋律をつくる活動を通して、児童が音と音との組合せ方を試行錯誤しながら、呼びかけとこたえ等を用いることを条件に、自分と友達の旋律とを組み合わせ、音楽づくりの発想を得ることができるよう支援していきたい。

#### (3) 学習指導要領との関連

本題材は、小学校学習指導要領の以下の内容に基づくものである。

【A表現：(3) 音楽づくり】

ア 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の(ア)及び(イ)をできるようにすること。

(ア) 即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ること。

イ 次の(ア)及び(イ)について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付くこと。

(イ) いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴

ウ 発想を生かした表現や、思いや意図に合った表現をするために必要な次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。

(ア) 設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能

本題材で扱う主な音楽を形づくっている要素

ア 旋律、音階 イ 呼びかけとこたえ

#### 4 教材について

##### ○「さくらさくら」の音階（ミファラシド）を使った音楽づくり

\* 4分の4拍子2小節（8拍）の旋律をつくる。

本題材では、「さくらさくら」で用いられている音階から五音（ミファラシド）を使って音楽づくりに取り組む。また、児童が即興的に旋律をつくることができるように、ミニキーボードに五音音階シート（都節音階）を付けて使用する。なお、ミとシの鍵盤に色付きシールを貼り、終止音の手掛りを示すこととした。

<旋律づくりのルール>

- ・ミファラシドの音でつくる。
- ・8拍でつくり、8拍目は休符にする。
- ・となりの音を行ったり来たりする。（とんだら近くの音を使う。）

#### 5 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><b>知</b> 「さくらさくら」の音階の響きやそれに基づいた五音の組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さに関わらせて気付いている。</p> <p><b>技</b> 発想を生かした表現をするために必要な、「さくらさくら」の音階で8拍の旋律をつくること条件に、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。</p>	<p>旋律や音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取って、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりを考え、即興的に音を選んだり組み合わせたりして旋律をつくることを通して音楽づくりの発想を得ている。</p>	<p>「さくらさくら」の音階をもとに旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。</p>

## 6 本時の評価の進め方と期待される児童の姿

### 【本時の評価規準】

【知】 「さくらさくら」の音階の響きやそれに基づいた五音の組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さと関わらせて気付いている。

### 【Aと判断される児童の状態】

「さくらさくら」の音階の音をよく把握し、旋律の音の選び方に気を付けながら、いろいろなリズムや組合せ方で試し、音階の音を使った旋律づくりのよさや面白さに気付いている。

### 【Cと判断されそうな状況への手立て】

- ・教師が例示したり、友達の表現を模倣したりしてつくるようにし、使う音や旋律の音の動き等確かめながらつくるように促す。
- ・友達と相談しながらつくってもよいことを助言する。

【思】 旋律や音階を聴き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さを感じ取って、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりを考え、即興的に音を選んだり組み合わせたりして旋律をつくることを通して音楽づくりの発想を得ている。

### 【Aと判断される児童の状態】

いろいろなリズムや音の組合せ方を試しながら、友達にアイデアを提案するなどして、リズムや旋律の音の動きをいろいろと試し、旋律をつくる発想を広げている。

### 【Cと判断されそうな状況への手立て】

音階のよさを生かした旋律をどのようにつくればよいのか、教師や友達と一緒に音を出して旋律づくりを試すようにする。

7 題材の主な指導計画（全2時間扱い）

時	○主な学習内容 ・学習活動	◇教師の働き掛け ◆具体的な評価規準（評価方法）
1 本 時	<p>○「さくらさくら」の音階の響きやそれに基づいた五音の組合せの特徴について、そのよさや面白さと関わらせて気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「さくらさくら」（既習曲）を聴いたり歌ったりして音階の特徴に気付く。</li> <li>・「かえるのがっしょう」について、「長音階」と「さくらさくら」の音階とを比較しながら聴いたり歌ったりして、違いの面白さに気付く。</li> <li>・「さくらさくら」の音階で演奏される「かえるのがっしょう」はどんな感じがするかを考える。</li> <li>・ミニキーボードで「ミファラシド」の音を使って、教師のつくった旋律を模倣したり、教師と違う旋律を即興的につくったりする。</li> </ul> <p>○「さくらさくら」の音階に親しみながら、即興的に旋律をつくるよさや面白さを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律づくりのルールを確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>&lt;旋律づくりのルール&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミファラシドの音でつくる</li> <li>・8拍でつくり、8拍目は休符にする</li> <li>・となりの音を行ったり来たりする（とんだら近くの音を使う）</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールに基づき、即興的に旋律をつくる。</li> <li>・即興的につくった旋律をペアで聴き合ったり全体で紹介したりする。</li> </ul>	<p>◇教師の手元を見せながらミニキーボードを弾くようにする。</p> <p>◇「さくらさくら」の音階の方は、音階の特徴を意識しながら聴くように、速度を調整しながらミニキーボードを弾く。</p> <p>◇児童の意見を板書し、全体で共有するようにする。</p> <p>◇「さくらさくら」の音階から五音選択することを伝え、階名を歌い、児童が旋律の音の動きを模倣しやすいようにする。</p> <p>◇一人ひとりが旋律づくりをできているか確かめながら、少ない音から徐々に音を増やしていくようにする。</p> <p>◇使う音やつくる長さなどがわかっているかどうかを確認できるよう一人ずつ表現したり一列ずつやグループずつで行ったりするなど模倣の仕方を変える。</p> <p>◆「さくらさくら」の音階の響きやそれに基づいた五音の組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さと関わらせて気付いている。 【知】〈演奏聴取・発言〉</p> <p>◇教師の模倣を基に、児童の発想を広げられるようにする。</p> <p>◇8拍で旋律づくりができるようにウッドブロックを鳴らし、自然と拍感を身に付けるようにする。</p> <p>◆旋律や音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取って、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりを考え、即興的に音を選んだり組み合わせたりして旋律をつくることを通して音楽づくりの発想を得ている。 【思・判・表】〈発言・表現観察〉</p>

2	<p>○「さくらさくら」の音階に親しみ、即興的につくった旋律を友達とつなげて表現し、よさや面白さを味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニキーボードを使い、ペア（もしくは3人組）で、「さくらさくら」の音階の五音で、8拍の旋律をつくり、呼びかけとこたえを使うことを条件に、即興的に旋律をつなげて表現する。</li> <li>・教師の伴奏に合わせてグループ（4～5人組）で即興的につなげた旋律を表現し、音楽をつくるよさや面白さを感じ取る。</li> <li>・ロンド形式の主題を演奏する。</li> <li>・学級全体で、ロンド形式で即興的な旋律づくりをする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;進め方&gt; 全体をABCに分け、 A 即興的な旋律づくり、B 主題、C 聴く B 即興的な旋律づくり、C 主題、A 聴く C 即興的な旋律づくり、A 主題、B 聴く</p> <p>○一人 → 全体(主題) → 一人 → 全体(主題)・・・ ○全体(主題) → 一人 → 全体(主題) → 一人・・・ のように進めていく。</p> </div>	<p>◇旋律のつなげ方に特徴があるペア（もしくは3人組）を全体で共有するようにする。（リズム、音の高さなど）</p> <p>◇フレーズのつなげ方の特徴を評価し、全体でよさや面白さを共有するようにする。</p> <p>◇フレーズをつなげる以外に重ねて表現しているグループがあれば全体で共有する。</p> <p>◇児童がつくる旋律をよく聴くことができるように、主題はシンプルなものを提示する。</p> <p>◆発想を生かした表現をするために必要な、「さくらさくら」の音階で8拍の旋律をつくり呼びかけとこたえを使うことを条件に、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。</p> <p style="text-align: right;">【技】〈演奏聴取・発言〉</p> <p>◆「さくらさくら」の音階をもとに旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。</p> <p style="text-align: right;">【態】〈行動観察・発言〉</p>
---	--	---

## 8 本時（全2時間中第1時間目）

### (1) 本時のねらい

○「さくらさくら」の音階の五音の組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さと関わらせて気付く。

○即興的に音を選んだりつなげたりして旋律をつくることを通して音楽づくりの発想を得る。

### (2) 本時の展開

導入 5分	○学習内容 ・学習活動	◇教師の働き掛け ◆具体的な評価規準（評価方法）
	・「さくらさくら」（既習曲）を聴いたり歌ったりして音階の特徴に気付く。	◇音階で使われている音が児童に分かるよう、手元を見せながらミニキーボードを弾く。

展開  
30  
分

○「さくらさくら」の音階の響きやそれに基づいた五音の組合せの特徴について、そのよさや面白さと関わらせて気付く。

- ・「かえるのがっしょう」について、「長音階」と「さくらさくら」の音階とを比較しながら聴いたり歌ったりして、違いの面白さに気付く。
- ・「さくらさくら」の音階で演奏される「かえるのがっしょう」はどんな感じがするかを考える。

<予想される児童の意見>

- ・暗い感じ
- ・和風のカエルが歌っている感じ
- ・カエルが着物を着ている感じ

- ・ミニキーボードで「ミファラシド」の音を使って、教師のつくった旋律を模倣したり、教師と違う旋律を即興的につくったりする。

<旋律づくりの手順>

- ・ラシドで模倣、ラシドでつくる
- ・ファラシドで模倣、ファラシドでつくる
- ・ミファラシドで模倣、ミファラシドでつくる
- ・ミファラシドミでつくる

(・友達と交互につくる)

※少しずつ使う音を増やしながらスモールステップで進めていく。

○「さくらさくら」の音階に親しみながら、即興的に旋律をつくるよさや面白さを感じ取る。

- ・旋律づくりのルールを確認する。

<旋律づくりのルール>

- ・ミファラシドの音でつくる
- ・8拍でつくり、8拍目は休符にする
- ・となりの音を行ったり来たりする  
(とんだら近くの音を使う)

- ・ルールに基づき、即興的に旋律をつくる。
- ・即興的につくった旋律をペアで聴き合ったり全体に紹介したりする。

◇教師の手元を見せながらミニキーボードを弾くようにする。

◇「さくらさくら」の音階の方は、音階の特徴を意識しながら聴くように、速度を調整しながらミニキーボードを弾く。

◇児童の意見を板書し、全体で共有するようにする。

◇「さくらさくら」の音階から五音選択することを伝え、階名を歌い、児童が旋律の音の動きを模倣しやすいようにする。

◇一人ひとりが旋律づくりをできているか確かめながら、少ない音から徐々に音を増やしていくようにする。

◇使う音やつくる長さなどがわかっているかどうかを確認できるよう、一人ずつ表現したり一列ずつやグループずつで行ったりするなど模倣の仕方を変える。

◆「さくらさくら」の音階の響きやそれに基づいた五音の組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さと関わらせて気付いている。

【知】〈演奏聴取・発言〉

◇教師の模倣を基に、児童の発想を広げられるようにする。

◇8拍で旋律づくりができるようにベース音を鳴らし、自然と拍感を身に付けるようにする。

◆旋律や音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取って、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりを考え、即興的に音を選んだり組み合わせたりして旋律をつくることを通して音楽づくりの発想を得ている。

【思・判・表】〈発言・表現観察〉

まとめ  
10  
分  
・今日の学習をふり返り、次時の内容を知って学習の見通しをもつ。

◇児童と一緒に、次時の学習内容につながるような短い作品を例示する。